資料１－５

「持続可能な物流の実現に向けた検討会」 資料

「持続可能な物流の実現に向けた製・配・販の取組み」

～ﾌｰﾄﾞｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ・ｻｽﾃﾅﾋﾞﾘﾃｨﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（FSP）活動状況～

2023年 3月30日

一般社団法人 日本加工食品卸協会

一般社団法人　日本加工食品卸協会　概要・沿革

名称	一般社団法人 日本加工食品卸協会
本部	東京都中央区日本橋本町2-3-4江戸ビル４階 TEL：03-3241-6568　　FAX：03-3241-1469
沿革	1927年（昭和2年）　社団法人日本缶詰協会　設立 （現在の「日本缶詰びん詰レトルト食品協会」） 1966年（昭和41年）　日本缶詰協会の内販部会342社が結集分離し「全国缶詰問屋協会」が発足 1977年（昭和52年）　日本加工食品卸協会　設立 1993年（平成5年）　農林水産省の社団法人化 2012年（平成24年）　一般社団法人日本加工食品卸協会に組織変更
加盟会員	正会員　９３社 事業所会員　９７社 賛助会員　１２６社 団体賛助会員　３団体　（2022年12月末日現在）

報告内容

１．加工食品サプライチェーンの現状と課題

２．「持続可能な物流の構築」に向けた対応

・「製配販３層の新たな取組み」
～フードサプライチェーン・
サステナビリティプロジェクト（FSP）～

・「FSPが目指す姿とマイルストーン」
～持続可能な物流実現のための施策～

３．中間取りまとめ「検討素案」についての見解

Copyright © 2019 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

１．加工食品サプライチェーンの現状と課題

１．加工食品流通業界の特徴

①扱い商品が生活必需品であり、社会的インフラを担っている

②メーカー・小売業ともに大小さまざま多数のプレイヤーが存在

③卸のプレイヤーは商社系・独立系それぞれの大手に集約

④多品種・多頻度で流通し、物流・データ処理の負担が大きい

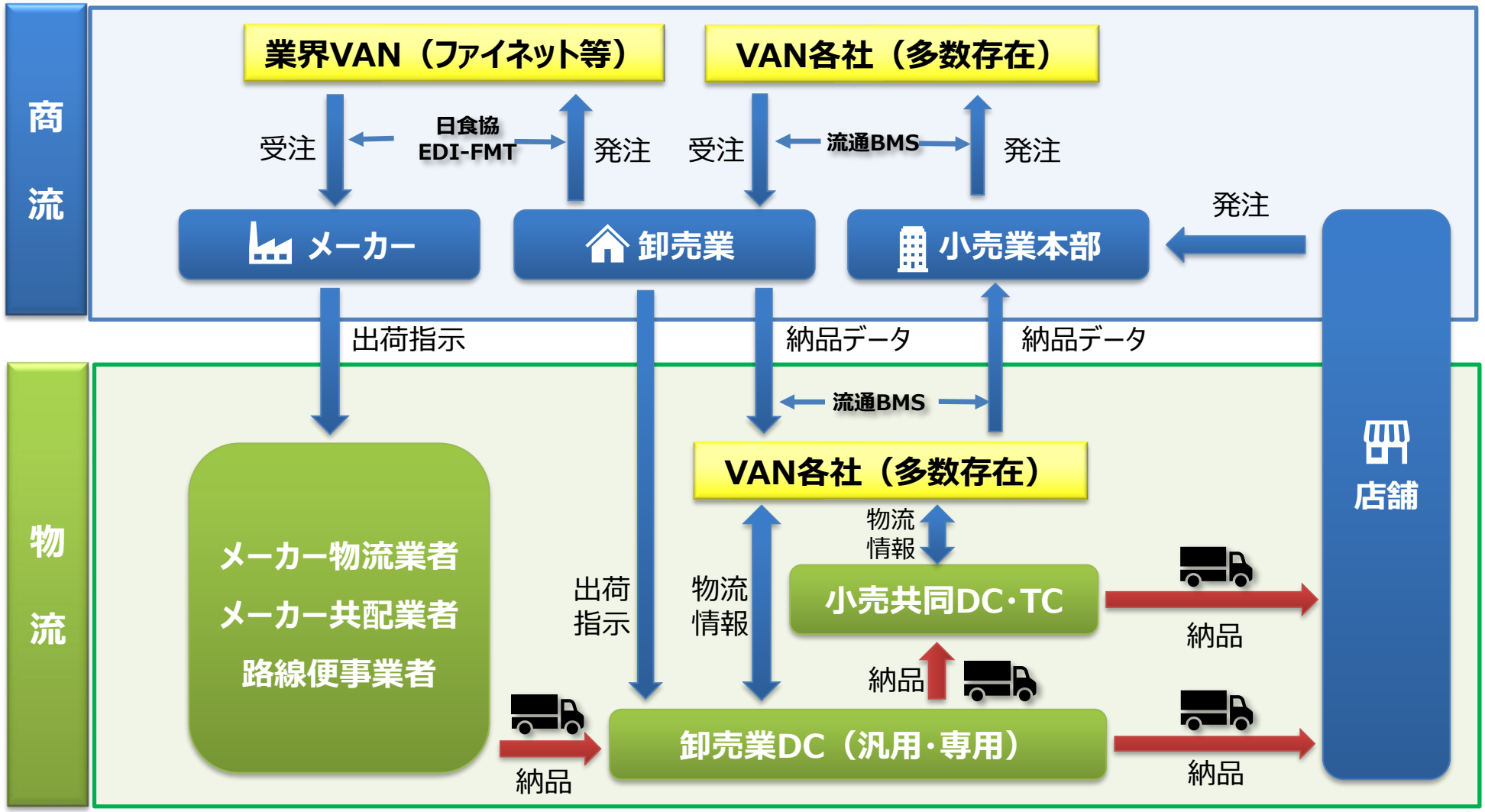
Copyright © 2019 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

加工食品サプライチェーンの商流・物流状況（現状）

現状と課題

卸・メーカー間 ：①商流 - 業界VANにより、標準化が進んでいる。多数を占める中小メーカーと卸間での効率化が課題。
：②物流 - 情報は紙媒体（納品伝票）のやり取り今だに主流で、電子的に情報が繋がっていない。

小売・卸間 ：①商流 - VAN事業者が多数存在し、卸側に負担が大きい。流通BMSも中小小売業には普及していない。
：②物流 - 納品情報は既にデータによりやり取りがされ、その信頼性に基づいた検品レスが実施されている。



Copyright © 2023 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

２．「持続可能な物流の構築」に向けた対応

「製配販3層の新たな取組み」

～フードサプライチェーン・
サステナビリティプロジェクト（FSP）～

Copyright © 2019 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

「FSP会議」発足の背景と目的

◎発足の背景

ｉ）フードサプライチェーンにおける全体最適構築の遅れ

ii）喫緊の課題は「持続可能な物流の構築」

iii）メーカー・卸間での取組み（SBM８社と日食協の共同ワーク）

iv）フードサプライチェーン全体におけるサステナビリティの追求

『持続可能な物流の構築』に向け、製・配・販の3層間が連携が不可欠。
FSP（フードサプライチェーン・サステナビリティプロジェクト）をスタート

Copyright © 2019 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

「FSP会議」発足の背景と目的

◎目的

ｉ）製配販３層間での情報共有

ⅱ）全体最適を妨げる「商慣習」の洗い出しと見直しへのアプローチ

ⅲ）将来にわたって存続する強固なフードサプライチェーンの構築

Copyright © 2019 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

「FSP会議」の構成団体

（小売業）

・一般社団法人 日本スーパーマーケット協会（JSA）
・一般社団法人 全国スーパーマーケット協会（NSAJ）
・オール日本スーパーマーケット協会（AJS）

（卸売業）

・一般社団法人 日本加工食品卸協会（NSK）

（製造業）

・食品物流未来推進会議（SBM）
味の素、カゴメ、キッコーマン食品、キユーピー、
日清オイリオ、日清製粉ウェルナ、ハウス、ミツカン

Copyright © 2019 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

持続可能な物流実現のための施策

検討テーマ

① 店舗納品期限「2分の１残し」への統一化と、それを前提としたメーカー・卸間納品期限のルール化

② 3層間の最適連携を目指す、小売・卸間、卸・メーカー間の定番発注締めの時間調整

③ 特売・新商品の確定数量化を可能にする、適正納品リードタイムの確保

Copyright © 2019 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

小売・卸間、卸・メーカー間の定番発注時締め時間調整

現状

	1日目		2日目		3日目	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM
小売		発注		発注		
卸売		受注		受注		
	発注		入荷【予測２回分】			
メーカー	受注					

LT２日延長
時間調整なし

	1日目		2日目		3日目	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM
小売		発注		発注		発注
卸売		受注		受注		受注
	発注				入荷【予測３回分】	
メーカー	受注					

アクション
発注締め時間調整

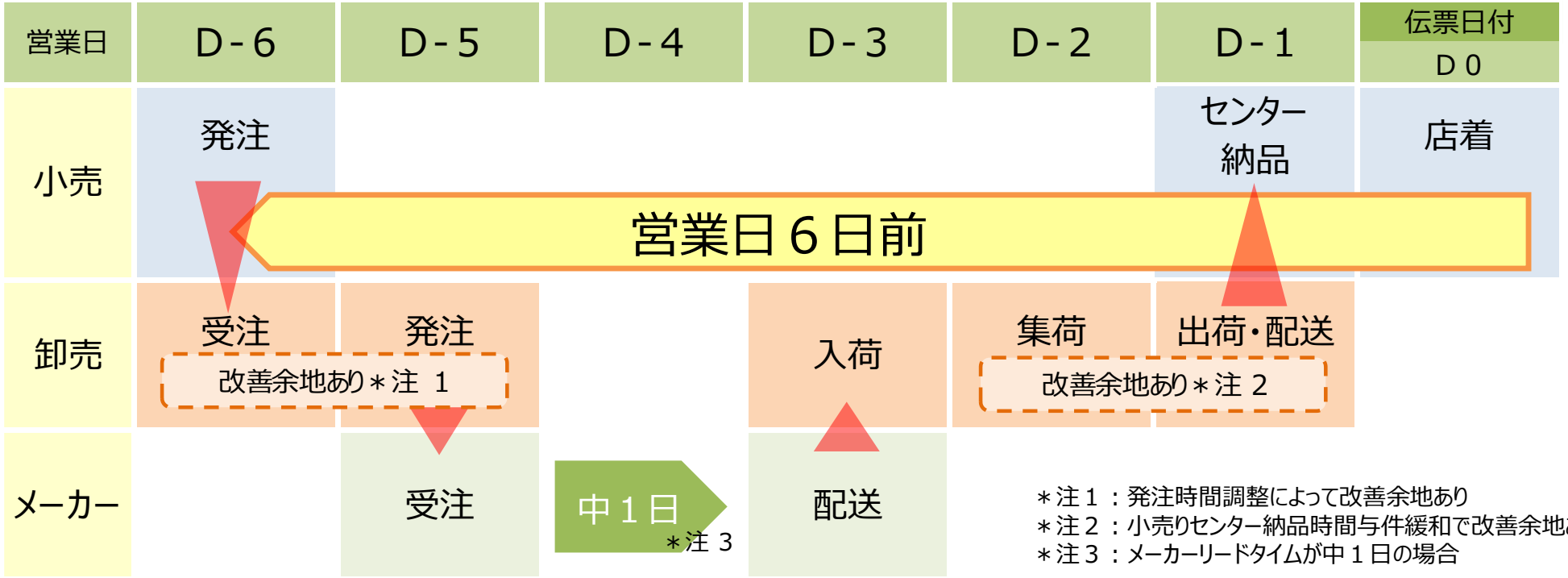
	1日目		2日目		3日目	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM
小売	発注		発注		発注	
卸売	受注	前倒し	受注		受注	
	後倒し	発注			入荷【予測２回分】	
メーカー		受注				

Copyright © 2019 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

特売・新商品受注の「現状」と「理想とする計画発注（営業日６日前）運用」

【現状】・特売LT不足と追加の常態化により卸は予測在庫となり、故に誤差が欠品・ロス在庫の要因となる
・初回発注数の精度向上と追加ルールの明確化が課題

【特売・新商品 理想運用】・特売・新商品注文（追加含む）の営業日６日前数量確定発注
・初回発注数精度を向上させ、極力追加の発注を抑える



＊注１：発注時間調整によって改善余地あり
＊注２：小売りセンター納品時間与件緩和で改善余地あり
＊注３：メーカーリードタイムが中１日の場合

小売からの特売・新商品注文の営業日６日前受信により、休日を加味した場合においても、
メーカー・卸とも安定した車両確保・商品供給が可能となる
※特売期間の追加が発生した場合も営業日６日間のリードタイムを確保する

Copyright © 2022 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

3. 中間取りまとめ「検討素案」についての見解

1. 特定荷主の対象範囲

・「3000万トンキロ以上」では対象範囲が狭く、当事者が少なすぎるため、対象範囲を広げる必要がある。
・着荷主での立場でトンキロを把握するのは困難である。

2. 個社を規制することについて

・物流問題の解決はサプライチェーン全体の協力・連携によって実現するものであり、個社の規制では全体最適よりも個別最適が優先されることが懸念される。（現状進められている製配販連携の阻害要因にならぬことを願う）

3. 定量的目標の設定について

・省エネ法のように明確な目標設定のイメージが持てないが、発着荷主、物流事業者が共有できる目標が望ましい。
・省エネ法の「原単位」に相当する指標が必要であり、課題解決策実行により得た定量効果を客観的に評価する必要がある。

4. 取組状況の報告において、過度な事務負担になることを懸念

Copyright © 2022 Japan Processed Foods Wholesalers Association All Rights Reserved.

よい商品
よい流通で
よい業態

一般社団法人 日本加工食品卸協会

〒103-0023
東京都中央区日本橋本町2-3-4 江戸ビル4階
電　話　03-3241-6568
ＦＡＸ　03-3241-1469
ＵＲＬ　http://nsk.c.ooco.jp/